

総合戦略事業シート										No.	1
具体事業		事業整理番号	48	事業名称	先端開発推進事業費（指標：実証実験数）						
施策体系	横断・基本目標	社会変化に対応できる持続可能なまち			総合戦略	戦略体系	横断戦略_社会変化に対応できる持続可能なまちをつくる				
	基本施策	3. 先端技術を活用した持続可能なまちづくりの推進				主要施策	(3) 先端技術を活用した持続可能なまちづくりの推進				
	具体施策	①先端技術を活用した将来にわたって暮らしやすいまちづくりの推進				担当部署	産業経済部産業支援センター	内線	5101		
進捗管理		目標指標		先端技術を活用した市内での実証実験数							
				R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 目標	R 6/R 7 達成率
		目標								5	0.60
		実績		4 4 4 4 4 3							
事業概要 ※廃止・減額事業の場合はその理由		人口減少と社会変化に対応できる持続可能な地域づくりのため、先端技術を活用した新しいまちづくりを推進するにあたり、実証実験フィールドとして、市内外の企業等に益田市を選んでいただくための支援を行う。 ※R 7年度から「産業振興推進事業」に統合									
事業検証 (R6)		【現状】	R1～R2に国土交通省スマートシティモデルプロジェクトに取り組み、R3から支援事業及び補助事業等にて支援を行っている。						R 6 に対する 自己評価	現状把握	B
		【課題】	事業の実施体制の整備や、地域課題の解決につながる事業の選択や事業の組み立てが課題となっている。							課題把握	B
		【対策】	個々の団体や企業との連携という従来の枠組みから、先端的な技術をまちづくりに活かすための新しい枠組みに発展させるため、R3年度から新規に取り組むこととした。							対応策検討	C
積算根拠 (R6)		○旅費 66,520円 ・ 関係機関の視察及び協議 ○需用費 63,775円 ・ 消耗品等購入費 ○使用料及び賃借料 1,056,000円 ・ 遠隔コミュニケーションシステム使用料						費用対効果		C	
事業費 (単位:千円)				前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 (R8～R12) 次期総合戦略対象期間 (R8～R12)					
				R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
		総事業費		1,187	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	
		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債(10万円単位で積算)									
		その他			4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	
		うち ふるさと応援基金			4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	
		うち 地域振興基金									
		一般財源		1,187							
財源説明		ふるさと応援基金繰入金 (R7～R12)									

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果(実績)の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	2
具体事業		事業整理番号	48	事業名称	先端開発推進事業費（指標：新規事業数）						
施策体系	横断・基本目標	社会変化に対応できる持続可能なまち			総合戦略	戦略体系	横断戦略_社会変化に対応できる持続可能なまちをつくる				
	基本施策	3. 先端技術を活用した持続可能なまちづくりの推進				主要施策	(3) 先端技術を活用した持続可能なまちづくりの推進				
	具体施策	①先端技術を活用した将来にわたって暮らしやすいまちづくりの推進				担当部署	産業経済部産業支援センター	内線	5101		
進捗管理		目標指標		先端技術を活用した市内での新規事業							
				R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 目標	R 6/R 7 達成率
		目標	単年							1件/累計	0.0
		実績		-	-	0	0	0	0		
事業概要 ※廃止・減額事業の場合はその理由		人口減少と社会変化に対応できる持続可能な地域づくりのため、先端技術を活用した新しいまちづくりを推進するにあたり、実証実験フィールドとして、市内外の企業等に益田市を選んでいただくための支援を行う。 ※R 7年度から「産業振興推進事業」に統合									
事業検証 (R6)		【現状】	R1～R2に国土交通省スマートシティモデルプロジェクトに取り組み、R3から支援事業及び補助事業等にて支援を行っている。						R 6 に対する 自己評価	現状把握	B
		【課題】	事業の実施体制の整備や、地域課題の解決につながる事業の選択や事業の組み立てが課題となっている。							課題把握	B
		【対策】	個々の団体や企業との連携という従来の枠組みから、先端的な技術をまちづくりに活かすための新しい枠組みに発展させるため、R3年度から新規に取り組むこととした。							対応策検討	C
積算根拠 (R6)		○旅費 66,520円 ・ 関係機関の視察及び協議 ○需用費 63,775円 ・ 消耗品等購入費 ○使用料及び賃借料 1,056,000円 ・ 遠隔コミュニケーションシステム使用料						費用対効果		C	
事業費 (単位:千円)				前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 (R8～R12) 次期総合戦略対象期間 (R8～R12)					
				R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
		総事業費		1,187	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	
		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債(10万円単位で積算)									
		その他			4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	
		うち ふるさと応援基金 うち 地域振興基金			4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	
		一般財源		1,187							
財源説明		ふるさと応援基金繰入金 (R7～R12)									

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果(実績)の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	3
具体事業		事業整理番号	374	事業名称	里の守り人づくり事業費（指標：新規就農者）						
施策体系	横断・基本目標	Ⅲ. 産業・観光振興による活力のあるまち			総合戦略	戦略体系	基本戦略1_定住の基盤となるしごとをつくる				
	基本施策	1. 特徴ある農林水産業の基盤強化				主要施策	(2) 農林水産業の活性化				
	具体施策	①意欲のある担い手の育成・支援				担当部署	産業経済部農林水産課	内線	5207		
進捗管理		目標指標		新規就農者数 20人/年(雇用就農15/年、自営就農5人/年)							
			R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 目標	R 6/R 7 達成率	
		目標							20人	50%	
		実績	20人 (19人)	18人 (18人)	22人 (20人)	25人 (25人)	12人 (12人)	10人 (10人)			
事業概要 ※廃止・減額事業の 場合はその理由		就農希望者の産業体験とその指導者、及び新規就農者の研修とその指導者に支援を行う。 《交付内容》 1. 産業体験者 月額 30千円以内 2. 体験指導者 月額 20千円以内 3. 研修者 月額 100千円以内 4. 研修指導者 月額 50千円以内 ※公益財団法人ふるさと島根定住財団等から補助金が交付されない場合は下記のとおり 1. 産業体験者 月額 100千円以内 2. 体験指導者 月額 50千円以内 《交付期間》 交付決定を行った日（交付決定が複数回ある場合にあっては、最初に交付決定した日）の属する月から1 年以内。ただし、研修者及び研修指導者にあっては、研修者の認定就農計画に定める研修期間内。									
事業検証 (R6)		【現状】	令和6年度における事業活用は10件、うち産業体験が4件、研修が6件となっている。						R 6 に対する 自己評価	現状把握	A
		【課題】	産業体験者及び研修受講者が本事業を活用する中で栽培技術の習得については成果を得られているが、経営面の知識習得に課題がある。							課題把握	A
		【対策】	本事業を活用する者が農業簿記、その他の経営に関する研修等を受講されるよう益田農業部、島根県農協などの関係機関と連携し、サポート体制を構築する。							対応策検討	A
実績 (R6)		【負担金補助及び交付金】9,000千円 ○前年度からの継続対象者（交付額：1,600千円） 受講者4名、指導者4名 ○新規の対象者（交付額：7,400千円） 受講者5名（うち1名は市内就農せず返還）、指導者5名						費用対効果		A	
事業費 (単位:千円) 事業間隔 毎年実施			前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 (R8～R12) 次期総合戦略対象期間 (R8～R12)						
			R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
		総事業費	9,000	6,900	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200		
		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債(10万円単位で積算)									
		その他									
		うち ふるさと応援基金 うち 地域振興基金									
一般財源	9,000	6,900	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200				
財源説明											

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果（実績）の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	4
具体事業		事業整理番号	408	事業名称	森の守り人づくり事業費（指標：新規就農者）						
施策体系	横断・基本目標	Ⅲ. 産業・観光振興による活力のあるまち			総合戦略	戦略体系	基本戦略1_定住の基盤となるしごとをつくる				
	基本施策	1. 特徴ある農林水産業の基盤強化				主要施策	(2) 農林水産業の活性化				
	具体施策	①意欲のある担い手の育成・支援				担当部署	産業経済部農林水産課	内線	5207		
進捗管理		目標指標	新規就農者数 20人/年(雇用就農15/年、自営就農5人/年)								
			R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 目標	R 6/R 7 達成率	
		目標							20人	50%	
		実績	20人 (1人)	18人 (0人)	22人 (2人)	25人 (0人)	12人 (0人)	10人 (0人)			
事業概要 ※廃止・減額事業の 場合はその理由		平成27年度からの10年間に事業期間とし、地域おこし協力隊制度を活用した「自伐型林業」の実践を通して、新たな林業就業、地域雇用の拡大を図った。事業の活用により都市部からのUIターン者5名が、市内に定着、森林・林業に関わる起業を実現している。 改めて今後も林業就業、地域雇用の拡大を図るため、広葉樹活用や林野事業者間の連携を推し進めるなかでの新たな事業の構築を目指す。									
事業検証 (R6)		【現状】	地域おこし協力隊員募集を令和3年度で中止し、令和4年度赴任隊員の令和6年度内任期を以て事業を廃止した						R 6 に対する 自己評価	現状把握	A
		【課題】	隊員の退任後の活動フィールドの確保や起業、就労に対する支援が必要							課題把握	B
		【対策】	定期的面談等により、隊員の将来的な目標を把握し、それに基づいた研修の実施や地域との調整を行うことで、各人に応じたきめ細やかな対応を図った							対応策検討	B
実績 (R6)		○報酬・共済費等 会計年度任用職員11月分 3,908,892円 ○旅費 隊員研修に係る旅費等 94,400円 ○需用費 燃料費、修繕料等 407,081円 ○役務費 手数料等 20,873円 ○使用料及び賃借料 車両借上料等 245,517円 ○負担金補助及び交付金 研修受講料 26,920円						費用対効果		C	
事業費 (単位:千円) 事業間隔 毎年実施			前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 (R8~R12) 次期総合戦略対象期間 (R8~R12)						
			R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
		総事業費	4,704								
		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債(10万円単位で積算)									
		その他									
		うち ふるさと応援基金 うち 地域振興基金									
一般財源	4,704										
財源説明											

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果(実績)の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	5	
具体事業		事業整理番号	377	事業名称		ハウス等整備事業費						
施策体系	横断・基本目標	Ⅲ. 産業・観光振興による活力のあるまち			総合戦略	戦略体系	基本戦略1_定住の基盤となるしごとをつくる					
	基本施策	1. 特徴ある農林水産業の基盤強化				主要施策	(2) 農林水産業の活性化					
	具体施策	①意欲のある担い手の育成・支援				担当部署	産業経済部農林水産課	内線	5207			
進捗管理		目標指標		新規就農者数 20人/年(雇用就農15人/年、自営就農5人/年)								
				R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 目標	R 6/R 7 達成率	
		目標	単年							20人	50%	
		実績		20人 (19人)	18人 (18人)	22人 (20人)	25人 (25人)	12人 (12人)	10人 (10人)			
事業概要 ※廃止・減額事業の 場合はその理由		新規就農者が今後の農業経営に必要な農業用ハウス等の整備を支援し、経営の安定化を図ること で市内の担い手を計画的に確保する。										
事業検証 (R6)		【現状】	市は、新規就農者の営農地について、関係機関の協力を得ながら、国営開発地や、飯田などの施設園芸地帯の空きハウスを提案し、マッチングを進めているが、就農の場としてハウス需要が増加する一方、空きハウスを探し出すのが困難になっている。また、近年の資材価格の高騰により、本事業なくして新規就農者の経営開始は困難な状況となっている。							R 6 に対する 自己評価	現状把握	A
		【課題】	空きハウスがあっても老朽化が進んでおり、希望者に提示できるものがなくなってきている。								課題把握	A
		【対策】	R6年度から県が補助率を変更、従前は県、市、事業実施者がそれぞれ事業費の1/3を負担。現行は県1/4(3/12)、市町村1/3(4/12)、本人5/12と補助率が変更になった。県は補助率を引き下げたが、市は補助率を維持し、ハウス整備を支援し、新規就農者の経営安定化を図る。								対応策検討	A
実績 (R6)		【負担金補助及び交付金】18,176千円 新規就農者農業用ハウス整備 パイプハウス1,575㎡×2棟(ぶどう)							費用対効果		A	
事業費 (単位:千円) 事業間隔 毎年実施				前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 (R8~R12) 次期総合戦略対象期間 (R8~R12)						
				R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
		総事業費		18,176	15,988	109,232	50,000	50,000	50,000	50,000		
		国庫支出金										
		県支出金		9,088	7,994	46,812	21,427	21,427	21,427	21,427		
		地方債(10万円単位で積算)										
		その他										
		うち ふるさと応援基金 うち 地域振興基金										
		一般財源		9,088	7,994	62,420	28,573	28,573	28,573	28,573		
財源説明		(県) ハウス等整備事業費補助金										

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果(実績)の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	6
具体事業		事業整理番号	656	事業名称	歴史を活かしたまちづくり魅力発信・調査研究事業費						
施策体系	横断・基本目標	Ⅱ. ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち			総合戦略	戦略体系	基本戦略3_益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる				
	基本施策	3. 歴史・文化の保存・継承・調査・活用や芸術活動の推進				主要施策	(2) ふるさと教育・ライフキャリア教育による人材育成				
	具体施策	①豊かな歴史・文化資源の保存・継承・調査・活用				担当部署	教育委員会文化振興課	内線	8803		
進捗管理		目標指標	市内の歴史文化施設(萬福寺、医光寺、雪舟の郷記念館)の拝観・観覧者数								
			R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 目標	R 6/R 7 達成率	
		目標							26,000人/年	29.0%	
		実績	13,685人/年	9,047人/年	10,031人/年	9,821人/年	12,326人/年	7,466人/年			
事業概要 ※廃止・減額事業の場合はその理由		・令和元年度に文化庁の認定を受けた益田市文化財保存活用地域計画に沿って、益田市の豊かな歴史文化を活かしたまちづくりを推進する。歴史を活かしたまちづくりに対する市民の理解と関心を高め、地域に対する誇りの向上につなげる。益田の歴史・文化についての調査研究を深め、また共同研究を展開し、その成果を公開することで、益田に対する興味や関心を喚起し、交流人口の拡大や市民の地域に対する誇りや愛着の醸成に繋げる。									
事業検証 (R6)		【現状】	文化財保存活用地域計画や日本遺産を活かした地域活性化計画に基づき、各種事業を実施しているが、目標には遠く及ばない数値となっている。令和6～7年度は雪舟の郷記念館が休館し、医光寺も冬季は閉めるなど厳しい状況にある。						R 6 に対する 自己評価	現状把握	B
		【課題】	日本遺産の認定など好条件がありながら、新型コロナウイルスの流行もあり、伸び悩んでいる現状がある。一方で、萬福寺ではお茶・お琴・お花によるおもてなしや様々な公演、中世の食の提供など、これまでにない取組も進められている。							課題把握	B
		【対策】	引き続き、各種事業を実施し、拝観・観覧者数の増加を促す一方で、新規性の高い取組を行い、拝観・観覧者数の増加だけではない効果を得ることも検討したい。							対応策検討	C
積算根拠 (R6)		○歴史を活かしたまちづくり関係 ・文化財保存活用地域計画関係(負担金・貸付金) 860,000円 ・全国史跡整備市町村協議会関係(旅費・負担金) 101,580円 ○調査研究関係(旅費) 70,529円 ○書籍販売関係(役務費・積立金) 249,405円 ○事務的経費(需用費、役務費) 70,554円						費用 対 効果	B		
事業費 (単位:千円) 事業間隔 毎年実施			前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 (R8～R12) 次期総合戦略対象期間 (R8～R12)						
			R 6	R 7	R 8	R 9	R 10			R 11	R 12
		総事業費	1,353	2,314	2,620	2,620	2,620	2,620	2,620		
		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債(10万円単位で積算)									
		その他	893	1,636	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489		
		うち ふるさと応援基金 うち 地域振興基金		731							
一般財源	460	678	1,131	1,131	1,131	1,131	1,131				
財源説明		貸付金元利収入、史料集販売収入									

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果(実績)の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	7
具体事業		事業整理番号	222	事業名称	婚活応援事業費						
施策体系	横断・基本目標	I. 子育てにやさしく、誰もが健やかに暮らせるまち			総合戦略	戦略体系	基本戦略2_結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
	基本施策	1. 結婚・出産・子育ての支援				主要施策	(1) 安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境の整備				
	具体施策	①安心して結婚し、子どもを産み育てられる環境づくり				担当部署	福祉環境部子ども福祉課	内線	4211		
進捗管理		目標指標	婚活支援イベント開催回数								
			R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 目標	R 6/R 7 達成率	
		目標							2	50.0	
		実績	3	0	0	0	2	1			
事業概要 ※廃止・減額事業の場合はその理由		【目的】結婚を望む独身男女の出会いの場の創出を図るため、独身男女の出会いイベントを開催する団体に対し、婚活イベントの開催経費を支援する。 【対象】独身男女の出会いイベントを開催する団体 【内容】独身男女の出会いイベント開催補助金の交付 ・市内開催 1イベント100千円まで。 ・複数市にまたがり開催 1イベント200千円まで。									
事業検証 (R6)		【現状】	晩婚化、未婚化が進行する中で、人口減少と高齢化が一層加速する傾向にある。					R 6 に対する 自己評価	現状把握	C	
		【課題】	独身男女の出会いのきっかけづくりをする雰囲気醸成及び地域、事業所等の婚活支援体制の充実が必要。						課題把握	C	
		【対策】	独身男女の健全な出会いイベントや結婚へのきっかけづくり支援又は異性とのコミュニケーション能力の向上に資する事業に要する経費に対し補助金を交付する。						対応策検討	B	
積算根拠 (R6)		○イベント開催補助金 93,000円 補助団体数 1団体 実施回数 1回 ○事務経費 16,820円					費用対効果		B		
事業費 (単位:千円)			前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 (R8~R12) 次期総合戦略対象期間 (R8~R12)						
			R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
		総事業費	110	224	224	224	224	224	224		
		国庫支出金									
		県支出金	93	200	200	200	200	200	200		
		地方債(10万円単位で積算)									
		その他									
		うち ふるさと応援基金									
		うち 地域振興基金									
		一般財源	17	24	24	24	24	24	24		
財源説明		市町村結婚支援強化交付金(県10/10)									

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果(実績)の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	8
具体事業		事業整理番号	516	事業名称	国県事業推進経費						
施策体系	横断・基本目標	IV. ひと・もの・情報をつなぐネットワークが整備されたまち			総合戦略	戦略体系					
	基本施策	1. 市内外のアクセスを確保する道路網整備				主要施策					
	具体施策	③高速道路網の整備促進			担当部署	建設部都市整備課	内線	6108			
進捗管理		目標指標	山陰自動車道(三隅・益田道路)の整備延長								
			R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 目標	R 6/R 7 達成率	
		目標							15.2		
		実績	0	0	0	0	0	0		0	
事業概要 ※廃止・減額事業の場合はその理由		国及び県事業の促進要望活動に伴う経費									
事業検証 (R6)		【現状】	国及び県管轄区間において、早期の事業化・整備が必要な箇所が存在している。						R 6 に対する 自己評価	現状把握	A
		【課題】	国：山陰道の早期整備（事業中区間の早期完成）国道9号交通安全及び防災対策事業の推進、高津川水系治水事業の促進 等 県：グリーンライン90の早期整備、主要地方道吉賀匹見線の早期整備 等							課題把握	A
		【対策】	各関係機関と連携し、新規事業化や事業実施のための十分な予算措置について、引き続き要望活動を行っていく。							対応策検討	A
積算根拠 (R6)		旅費 2,323,550円 事務費 86,025円						費用対効果		A	
事業費 (単位:千円)			前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 (R8～R12) 次期総合戦略対象期間 (R8～R12)						
			R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
		総事業費	2,410	5,578	2,525	2,525	2,525	2,525	2,525		
		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債(10万円単位で積算)									
		その他									
		うち ふるさと応援基金 うち 地域振興基金									
一般財源	2,410	5,578	2,525	2,525	2,525	2,525	2,525				
財源説明											

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果(実績)の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	9
具体事業		事業整理番号	517	事業名称	国県事業推進負担金						
施策体系	横断・基本目標	IV. ひと・もの・情報をつなぐネットワークが整備されたまち			総合戦略	戦略体系					
	基本施策	1. 市内外のアクセスを確保する道路網整備				主要施策					
	具体施策	③高速道路網の整備促進				担当部署	建設部都市整備課	内線	6108		
進捗管理		目標指標	山陰自動車道(三隅・益田道路)の整備延長								
			R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 目標	R 6/R 7 達成率	
		目標							15.2		
		実績	0	0	0	0	0	0		0	
事業概要 ※廃止・減額事業の場合はその理由		各種建設促進期成同盟会等の負担金									
事業検証 (R6)		【現状】	国及び県管轄区間において、早期の事業化・整備が必要な箇所が存在している。						R 6 に対する 自己評価	現状把握	A
		【課題】	国：山陰道の早期整備（事業中区間の早期完成）国道9号交通安全及び防災対策事業の推進、高津川水系治水事業の促進 等 県：グリーンライン90の早期整備、主要地方道吉賀匹見線の早期整備 等							課題把握	A
		【対策】	各関係機関と連携し、新規事業化や事業実施のための十分な予算措置について、引き続き要望活動を行っていく。							対応策検討	A
積算根拠 (R6)		○山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会 172,000円 ○高津川水系治水砂防期成同盟会 301,000円 ○全国治水砂防協会 222,800円 ○鳥根県西部高速道路利用促進協議会 83,000円 ○山陰道益田地域整備推進連絡協議会 500,000円 ○浜田・益田間高規格道路建設促進期成同盟会 300,000円 ○浜田市～津和野町間幹線道路整備推進協議会 100,000円 ○中国国道協会 60,000円 ○山陰自動車道（益田～萩間）備促進期成同盟会 145,000円 ○浜田益田間主要地方道改良促進同盟会 15,000円 ○主要地方道吉賀～匹見線改良整備促進期成同盟会 50,000円 ○矢原川ダム建設促進期成同盟会 100,000円 ○全国治水期成同盟会連合会 15,000円 ○匹見地域道路整備促進期成同盟会 6,400円 合計：2,070,200円						費用対効果		A	
事業費 (単位：千円) 事業間隔 毎年実施			前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 (R8～R12) 次期総合戦略対象期間 (R8～R12)						
			R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
		総事業費	2,071	2,106	2,129	2,129	2,129	2,129	2,129		
		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債(10万円単位で積算)									
		その他									
		うち ふるさと応援基金 うち 地域振興基金									
一般財源	2,071	2,106	2,129	2,129	2,129	2,129	2,129				
財源説明											

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果（実績）の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	10	
具体事業		事業整理番号	644	事業名称	ひとづくり推進事業費							
施策体系	横断・基本目標	Ⅲ. 産業・観光振興による活力のあるまち			総合戦略	戦略体系						
	基本施策	3. 雇用・産業基盤の強化				主要施策						
	具体施策	③次代を担う若者の地元就職の促進と定着支援			担当部署	教育委員会ひとづくり推進課						
進捗管理		目標指標		キャリア教育に参加した企業数								
				R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 目標	R 7 目標	R 6/R 7 達成率	
		目標									250	56.0%
		実績		187	139	157	135	138	140			
事業概要		「益田市ひとづくり協働構想」に基づき、多様な人との対話によるロールモデルとの出会いや、生き様・価値観に触れることで、自分の人生を能動的に生きていくことができる力を養うライフキャリア教育を推進し、子どもたちの生きる力の育成を図る。また、ライフキャリア教育に市外の若者が関わる機会をつくることで、「若者がチャレンジできる益田」のイメージ定着を図る。										
事業検証 (R6)		【現状】	益田版・職場体験の参加事業所数について、過去に受入実績のある200を超える事業所に受入希望調査を実施したところ、約150事業所から受入れの申込みがあったが、中学校からの希望職種の申し出に対応した結果、140事業所での実施となった。							R 6 に対する 自己評価	現状把握	B
		【課題】	受入事業所の新規開拓が十分できておらず、受入れ事業所の固定化が懸念される。								課題把握	B
		【対策】	引き続き、益田商工会議所や美濃商工会、益鹿雇用促進協議会と協働し、ライフキャリア教育に関わる事業所を増やす取組を展開する。また、益田市未来の担い手育成コンソーシアムの活動を推進し、ライフキャリア教育に関わる事業所を増やす。								対応策検討	B
積算根拠 (R6)		＜事業概要＞ ①小中高生ライフキャリア教育推進事業業務委託、ロールモデル接続事業業務委託の実施（プロポーザル） ②教育魅力化コーディネーター事業業務委託の実施（プロポーザル） ③JFAこころのプロジェクト「夢の教室」の実施 ＜積算根拠（主なもの）＞ ①16,498,000円 ②300,000円×12月＝3,600,000円 ③2,300,000円 ほか							費用対効果	B		
事業費 (単位:千円)				前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 次期総合戦略対象期間						
				R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12		
		総事業費		22,658	22,697	22,697	22,697	22,697	22,697	22,697		
		国庫支出金		5,764								
		県支出金		3,500	3,500							
		地方債(10万円単位で積算)										
		その他		13,394	19,197	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
		うち ふるさと応援基金		5,394								
		うち 地域振興基金			14,197							
一般財源				17,697	17,697	17,697	17,697	17,697				
財源説明		県：コンソーシアム運営マネージャー配置費補助金／その他：地方創生応援税制寄付金										

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果（実績）の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	11		
具体事業		事業整理番号	438		事業名称	産業振興推進事業費							
施策体系	横断・基本目標	Ⅲ. 産業・観光振興による活力のあるまち				総合戦略	戦略体系	基本戦略1_定住の基盤となるしごとをつくる					
	基本施策	3. 雇用・産業基盤の強化					主要施策	(3) 商工業などの活性化					
	具体施策	①既存企業の育成支援				担当部署	産業経済部産業支援センター						
進捗管理		目標指標		市補助金活用等支援事業者件数									
				R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 目標	R7 目標	R6/R7 達成率		
		目標	単年						8	62.5%			
		実績		-	4	7	3	9	5				
事業概要		益田市商工業振興会議を開催し意見等集約に努め、あわせて企業訪問等を通じたニーズの把握・課題解決を進め、新分野に挑戦する企業を支援する。 【事業内容】 ①益田市商工業振興会議の開催 ②商品開発等支援事業補助金やモニター調査モニター調査事業等により、商品開発や販路拡大等の新たな取組に挑戦する企業を支援する。 ③松江工業高等専門学校との連携協定を推進し、工作教室の開催や企業との交流を促進させる。											
事業検証 (R6)		【現状】	・商工業振興会議については、1回開催した。 ・商品開発等支援事業補助金については、のべ5件（うち商品開発1件、販路開拓4件）の支援を行った。 ・高専との連携では、工作教室参加者のべ80人、高専見学会、小規模校出前授業や高専生の企業見学等を実施した。						R6 に対する 自己評価	現状把握	B		
		【課題】	・商品開発等の新たな取組に挑戦する企業の掘り起しと継続的なフォローアップが必要と考える。							課題把握	B		
		【対策】	・支援機関による産業支援センター連絡会を通じて制度の周知による案件発掘、さらに支援体制の構築を図っている。 ・新規開発商品のふるさと納税返礼品への登録などに取組んでいる。							対応策検討	B		
積算根拠 (R6)		①益田市商工業振興会議経費（報酬、費用弁償等） 7,584円 ②商品開発等支援事業補助金 472,000円 ②モニター調査等事務費（旅費、需用費等） 419,901円 ③松江高専連携事業事務費（報償費、旅費等） 202,980円 ③松江高専連携事業委託料 1,500,000円										費用対効果	B
事業費 (単位:千円)				前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 次期総合戦略対象期間							
				R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12			
		総事業費		2,603	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100			
		国庫支出金		552	0								
		県支出金											
		地方債(10万円単位で積算)											
		その他		1,899	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100			
		うち ふるさと応援基金 うち 地域振興基金		1,899	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100	4,100			
一般財源		152	0	0	0	0	0	0					
財源説明		国庫支出金：デジタル田園都市国家構想交付金 その他：ふるさと応援基金繰入金（R6～）											

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果（実績）の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					

総合戦略事業シート										No.	12
具体事業		事業整理番号	466	事業名称	歴史文化交流館管理運営経費						
施策体系	横断・基本目標	Ⅲ. 産業・観光振興による活力のあるまち			総合戦略	戦略体系	基本戦略1_定住の基盤となるしごとをつくる				
	基本施策	5. 戦略的な観光の推進				主要施策	(4) 戦略的な観光の推進				
	具体施策	①観光地域づくりの推進				担当部署	産業経済部観光交流課				
進捗管理		目標指標		歴史文化交流館の収益事業による収益額							
				R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績	R 6 目標	R 7 目標	R 6/R 7 達成率
		目標	単年						8,882,000		7.71%
		実績					101,006	684,861			
事業概要		令和6年4月に開館した歴史文化交流館の指定管理を委託し、施設の維持管理・運営を行い、観光周遊拠点として多くの観光客を迎え入れるとともに、市民を始めとする来場者の交流活動を生み出す。									
事業検証 (R6)		【現状】	指定管理者と連携し、入館者数の増と、日本遺産を中心とした観光周遊拠点としての機能を果たせるよう定期的な集客イベントを開催した。						R 6 に対する 自己評価	現状把握	B
		【課題】	集客イベントの開催により、来館者数の目標は達成しているが、平日開館日の来館者数は伸び悩んでいる。収益額については、設計当初は施設内に「喫茶スペース」を設ける計画（設置なし）となっており、目標額と大きく乖離している。							課題把握	B
		【対策】	案内標識の設置（R6）引き続き、指定管理者と連携し、集客に取り組む。また、グラントワの企画展等と連動したイベント開催についても継続したい。							対応策検討	C
積算根拠 (R6)		●展示ルーム修繕等 717千円 ●火災保険料 9千円 ●指定管理料 17,122千円 ●案内標識設置工事、防犯灯設置工事、監視カメラシステム設置工事1,273千円						費用対効果		B	
事業費 (単位:千円)				前年度 (実績)	今年度 (予算)	中期財政計画対象期間 次期総合戦略対象期間					
				R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12	
		総事業費		19,121	17,490	17,231	17,231	17,231	17,231	17,231	17,231
		国庫支出金									
		県支出金									
		地方債(10万円単位で積算)									
		その他		1,273	200	200	200	200	200	200	
		うち ふるさと応援基金		1,273							
		うち 地域振興基金									
一般財源		17,848	17,290	17,031	17,031	17,031	17,031	17,031	17,031		
財源説明		R7～200千円（歴史文化交流館企画展示観覧料）									

【評価】

①KPI達成状況	A・B・C・D	②成果（実績）の状況	A・B・C・D	④今後の方向性についての意見	A・B・C・D・E
③改善・見直し事項等への意見					